

慶蔵院寺報

公孫樹

2025年11月発行

第166号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

TEL 0596 (22) 3726



24日の地藏さんの日

画 山寄淑子

銀杏の縁



二十六日の念仏行脚、雨にもかかわらず、沿道、公民館等でお待ちいただいて、ありがとうございます。
皆さんから頂戴した「おひねり」総額が一万二千六百元も有りました。お心づかい感謝いたします。その際にお配りした銀杏ですが、



今年は豊作で、まだまだ寺の方に残っております。銀杏をもらってない方、もっと欲しい方、どうぞ寺の方まで、遠慮なくもらいに来てください。近所の方の分も、もらいに来てください。早い者勝ちになりますから急いでどうぞ。

次にお詫びです。来年の一月に予定したスキーバスツアー、締め切りまでに申し込みが、一名しかありませんでした。残念ですがツアーを断念せざるを得ません。今年は中止させていただきます。

ところで、二十四日はお地藏さんの日です。今月から、祈祷、お加持が務まることになりました。この日はぜひ慶蔵院においで下さい。時間の無い人は、五分の祈祷を地藏堂でお受け下さい。身体に不調や痛みの有る方は、昼の一時から三時までにおいで下さい。幸森女さんからのお加持をいただけます。今回初めての試みでしたが、十四名の参加で、大好評でした。「背筋が伸びた」「顔色が変わった」「目がすっきりしてよく見える」「体が温かくなり、痛みが消えていた」「元気になった」「笑顔になれた」「十一月も絶対に来たい」…など、明るく楽しい話題が、本堂内に、いっぱい飛び交っていました。

この日、住職の書く「銀杏お守り」も復活しました。令和三年以来です。日付も入れます。毎月お渡ししたいと思います。また、お昼には「銀杏ごはんおにぎり」を用意させていただきます。

お葬儀ができた場合は、何時でもかまいません、最初に、慶蔵院にご連絡ください。電話 22-3726

11月の行事予定



5日(水)	写経会	午前 10 時～	本堂にて
10日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	午後 1 時半～	
12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 羊毛フェルト教室 講師 monmo 先生 男性詠唱隊 落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風・小東風 	午後 1 時～3 時	一会館にて
		参加費 1500 円	
		午後 1 時半～3 時	本堂にて
		午後 7 時～	一会館にて
13日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前 10 時～11 時半 午後 1 時半～3 時	一会館にて
		参加費 1 回 1000 円	
19日(水)	健康教室 講師 馬場久美子先生	午後 1 時～3 時	本堂にて
		参加費 500 円	
24日(月)	地藏堂の開帳 祈願とお加持	祈願は 10 時、お加持は 1 時～3 時	
26日(水)	戦没者慰霊・平和の鐘 地藏堂開帳・地藏講	午前 8 時頃 午後 1 時半～	
14・28日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生	午後 7 時～子ども茶道教室 午後 7 時半～大人茶道教室	参加費 大人 500 円 一会館にて

慶蔵院豆知識 part2

30

御十念和讃について

先日、何気なく「西国三十三所御詠歌集・諸番外詠歌和讃入」永田文昌堂発行」を繰っていたら、御十念和讃が目止まり、こういう和讃もあるのかと感じた次第です。次のような内容です。

一つには「ひとえに大事な後生(来世)なり。常々念仏忘るなよ。なむあみだぶつ」

二つには「再び逢われぬ今日の日を。空しく暮らすは憐れなり。なむあみだぶつ」

三つには「未来が大事と思うなら。善根功德の供養せよ。なむあみだぶつ」

四つには「善きも悪しきも打ち捨てて。仏の教えにとりすがり。なむあむあみだぶつ」

五つには「いつ迄此の世にいるものぞ。命はもろき草の露。なむあみだぶつ」

六つには「無限地獄へおつる身を。そのまま救うは弥陀如来。なむあむあみだぶつ」

七つには「奈落へ落つる女人まで。洩らすまいとの御誓願。なむあみだぶつ」

八つには「山ほど財宝積む人も。死出の旅路は只一人。なむあみだぶつ」

九つには「心すなおに本願を。頼めばこれぞ仏なり。なむあみだぶつ」

十には「尊き教えの念仏を。すすめよ称えよ信すべし。なむあみだぶつ」

数え歌のようになっていて、十念(「なむあみだぶつ」と十回唱える事)を行う時に、心することだと私は感じました。(文 麻畑公生)

住職の健康回復への道のり(45)

石垣院長の理論に「命の営みから考える宇宙論」がある。宇宙から見ていくと、①対象となっていない見えない宇宙がある。次には、②対象となっていない宇宙。…人類が把握できている範囲の宇宙である。その中に③銀河系(太陽系)があり、④地球がある。地球は私たちを取り巻く環境そのもの。ここに⑤生命が存在し、人間はその一つにすぎない。

NHKの「人体の不思議」シリーズで放映されたが、あらゆる生命体は共通して二〇種類のアミノ酸で構成されているという。元にあるのはルカと呼ばれる一つの細胞。ここまでは科学が説明しえたところ。細胞は取り入れて吸収して排出を繰り返す、これが「いきること」の基本。四十兆の細胞で構成されている人間もまた、内臓で取り入れ・吸収・排出を繰り返し、地球という環境の中で「いのち」をいただいている。基盤内臓にある。すべて生命体は、宇宙の中に存在し、みな双方向の関係の中にある。ここより健康体を考えていく必要がある。

凛として欣求浄土とこの此岸

奥田悦生

()「知恩」誌十月号「柳壇」に掲載

※護持会費、後期に収められる方は

今月、よろしくお願ひします。

年会費は六千円、半期は三千円です。



十月は、ハロウィンにちなんで、かぼちゃを切ってくださいました。



小学3年生の小東風さんの紙切り、目が離せません。トークも楽しみです。「切るの、なかなか大変です。ちょっと時間がかかっていますが、僕は、こうしているのが好きなんです。おそらく、大人になっても続けると思います。」お客さんに語りながら、器用に切ってくださいます。

ぜひご来場ください。お待ちしております。

落語会「いちご亭」
十一月十二日(水) 午後七時〜慶蔵院「一会館」にて
出演 法話 慶蔵院住職 紙切り 安楽亭小東風
落語 南遊亭栄歌 安楽亭東風

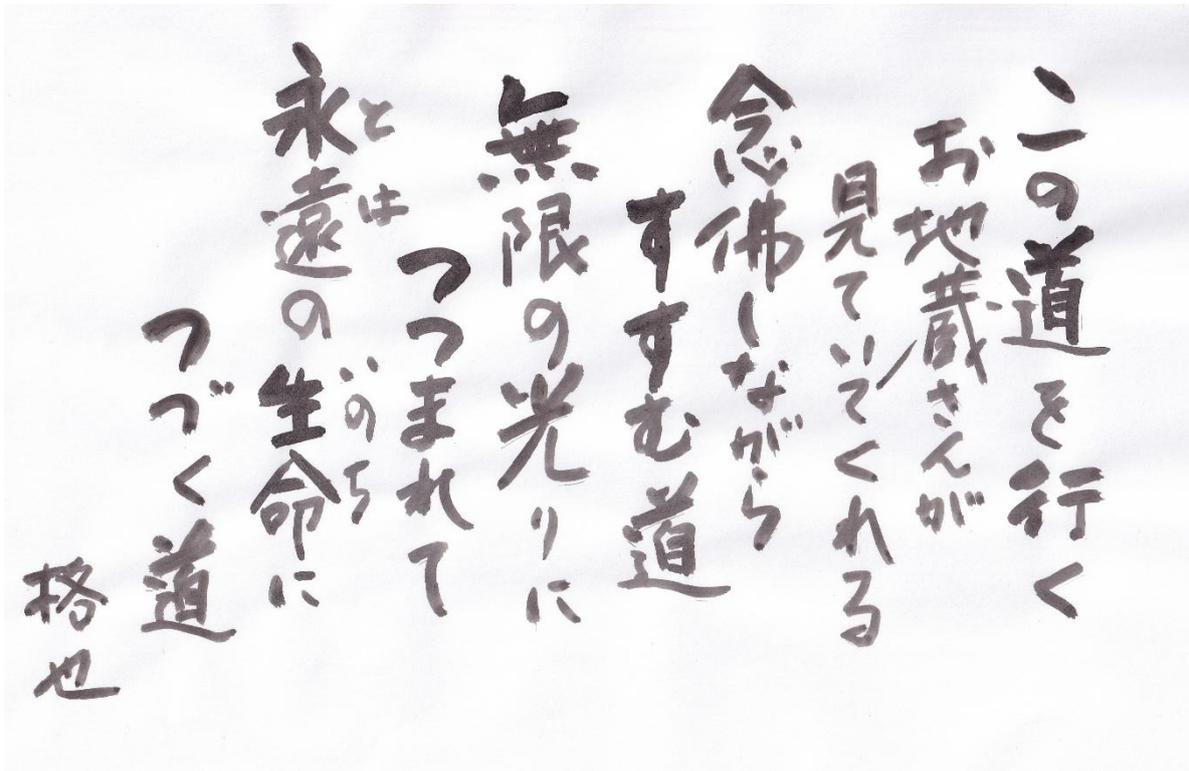
安楽亭小東風(小学二年・晋之介君)の紙切り、好評です。お楽しみに!!



昭和つれづれ物語 ⑪

子どもは時に危険な遊びをするものだ。今振り返ると恐ろしくなる。電車の鉄橋を渡ろうとしたり、線路に石を並べたり…。「釘を線路に置いて、電車に引かすと磁石になるかも知れない」と誰かが言い出した。「やってみよう」と釘を線路に並べ、電車が通り過ぎるのを隠れてみていた。釘は、弾き飛ばされて探すのに苦労した。見つけても磁石になんか、っていない。「上手くいかなかった。もっぺんやろー」何度か釘を持ち出して挑戦したものだ。運転手さんが気づいて電車が止まることになれば、大変な迷惑をかけることになる。万一、脱線でもして大事故になったら…。学校での集会で、「電車の線路に石を置いた人がいます。絶対にしてはいけません。線路の周りであそばないように…」と注意を受けた。石を置いたのは私達ではない。でも同じような事を行った子もいるんだと思った。注意をされたら、素直なもんだ。二度と線路には近づかないようになった。





「和尚さん、やっぱり魂というものはあるんですね。」
車のエンジンをかけながら檀家さんが話し出した。今からこの車で墓の開眼供養にでかける。

八月に、墓を造り直したいとの相談を受けた。父親が本家から言われてお世話をしてきた墓が、ひびが割れてきている。どんなつながりがあるのかは知らない。父親からも聞かされていなかった。墓の字も読みにくくなっているの
で過去帳で調べてもらいたい。

精抜きを済ませた日にこう伝えた。ひび割れた墓、廃棄せず、石材店に頼んで寺に運んでもらうように…。お父さんが守ってきた墓石なんだから、寺に残しておこう…。どこに置くかは考えておくから…。

そして今日、新しい墓の開眼をする。

「夜中に、自分の名前を呼ぶ声があるので目を覚まししました。一時半頃のことです。筆筒の上に、女の人の上半身が見えました。顔は向こうを向いていてわかりません。髪の毛が茶色くてソバージュになっていました。家内かと思つて横を見ると、寝ていました。しばらくしてその女の方は、スーッと消えていきました。声は聞こえませんでした。それから朝まで眠れませんでした。寝ぼけてなんかいません。名前を呼ばれて、しっかりと目を空けて見ていました。怖くなかったです。きつと礼に来てくれたんだと思いました。家内には話していません。怖がると思いますから…」

間違いなく御礼に来てくれたんだと思います。いい体験をされました。これを機会に、どんどんと信仰を深めていってほしいです。信仰は、魂や「いのち」は永遠であることを信じ確信することが原点です。